

SDGsブックレット 2020

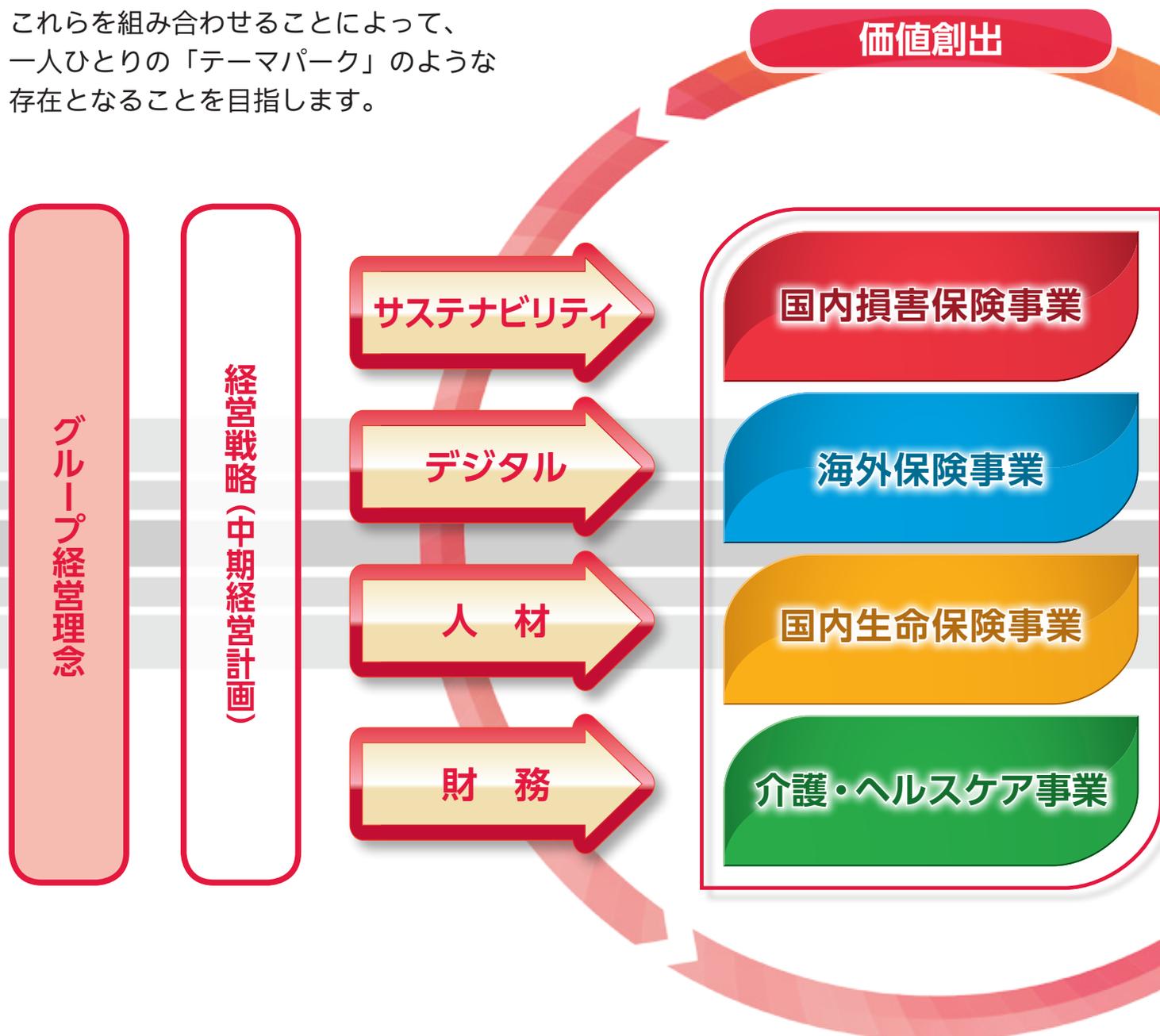


価値創造モデル

「安心でいたい」「安全でいたい」「健康でいたい」

誰もが持つこの根源的な想いに応えるために、グループの力を結集して、様々な最高品質の「安心・安全・健康」に関するソリューションを次々に創出していきます。

これらを組み合わせることによって、一人ひとりの「テーマパーク」のような存在となることを目指します。



会社概要

会社名	SOMPOホールディングス株式会社 (英文表記：Sompo Holdings, Inc.)
本店所在地	〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1
TEL	03-3349-3000 (代表)
設立	2010年4月1日
資本金	1,000億円

代表者	グループCEO 取締役 代表執行役社長 櫻田 謙悟
事業内容	損害保険会社、生命保険会社その他の保険業法の規定により子会社等とした会社の経営管理およびこれに附随する業務
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)
URL	https://www.sompo-hd.com/

※ 2020年8月末日現在

Contents

価値創造モデル、会社概要	1
サステナビリティ	3
特集 SDGs 達成に貢献する社会課題解決に向けた商品・サービス	7
グループ CSR 重点課題 ～安心・安全・健康のテーマパークの実現に向けて～	11
重点課題 1 防災・減災への取組み	
防災・減災費用保険	13
業界をリード！立ち入り困難な災害被災地等でのドローン活用	13
ウェアラブル端末（スマートグラス）を活用した損害調査、ドローンを活用した建物診断サービス	13
「LINE」を活用した事故受付・事故対応サービス	14
防災ジャパンプロジェクト	14
「ALSOK 事故現場安心サポート」の提供	14
LINE ほけん	15
テレマティクスを活用した安全運転支援サービス	15
『DRIVING！～クルマのある暮らし～』	15
黄色いワッペン贈呈事業	16
「交通安全プロジェクト」 in インドネシア	16
ドラえもん交通安全キャンペーン	16
重点課題 2 健康・福祉への貢献	
SOMPO 認知症サポートプログラム～認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会を～	17
フルラインナップの介護サービス	17
認知症サポーターの養成	18
SOMPO ケア ユニバーシティ（東京・大阪）	18
Future Care Lab in Japan ～「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護の創造プロジェクト～	18
健康サービスブランド リンククロス	19
健康経営における禁煙の取組み	20
「SOMPO パラリンアートカップ」の支援	20
介護福祉士養成のための奨学金制度	20
SOMPO スマイルキッズ江戸川橋保育園	20
重点課題 3 地球環境問題への対応	
『AgriSompo』	21
エコファンド『損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）』	22
気候変動リスク分析	22
「エコ・ファースト企業」に認定	22
SAVE JAPAN プロジェクト	23
CSO ラーニング制度	23
損保ジャパンの森林	23
市民のための環境公開講座	24
エコロジカルプロジェクト	24
重点課題 4 よりよいコミュニティ・社会づくり	
モビリティサービスの利便性向上	25
Community Enhancement Day	25
SOMPO Digital Lab	26
地方自治体との環境・SDGs に関する連携	26
SOMPO ちきゅう倶楽部	27
SOMPO 美術館	27
SOMPO ダンスプロジェクト	28
損保ジャパン人形劇場「ひまわりホール」	28
Diversity on the Arts Project（愛称：DOOR）	28
重点課題 5 ダイバーシティの推進・啓発	
生産性向上を実現する SOMPO グループの働き方改革	29
女性活躍推進	29
特例子会社「SOMPO チャレンジド株式会社」にて障がい者雇用を促進	30
LGBT 理解促進	30
グローバルリーダー育成と人材交流プログラム	31
社会福祉に資する活動支援	31
健康経営の取組み	32
参考 重点課題の特定プロセス	33
参考 CSR マネジメントシステム	35
CSR の考え方	37
社外からの主な評価	38

目指す姿

安心・安全・健康の
テーマパーク

いてほしいSOMPO
いなくては困るSOMPO



お客さま、社会、地球の
幸せへの貢献

持続可能な社会



編集方針

「SDGs ブックレット」は、当社グループのCSRの取組みの一部を簡潔に紹介する冊子です。より幅広い、まとまったサステナビリティ情報はCSRサイトをご覧ください。

<https://www.sompo-hd.com/csr/>

SUSTAINABILITY

サステナビリティ

サステナビリティとは、「現代の貧困や格差などの社会課題を克服しつつ、将来世代のあらゆるニーズを損なわないよう、限りある地球の生産力の範囲内に発展を収めて、持続可能なものにしていこう」という考え方です。2030年をターゲットとしたSDGsの「持続可能な社会の実現」に向け、政府や市民だけでなく、企業にも具体的な行動が求められています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な社会を実現するために掲げられた世界共通の目標「SDGs」

2019年

9月

国連気候行動サミット

2019年9月、ニューヨークで「国連気候行動サミット」が開かれ、各国や企業などの代表が集まり気候変動への対応について議論しました。グテーレス国連事務総長は、「77カ国が2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするとの目標を掲げ、70カ国が2020年までに国としての対策を強化させると表明した」とスピーチしています。スウェーデンの環境活動家のグレタ・トゥンベリさん(当時16歳)は若者の代表として登壇し、気候変動の危機を訴えるスピーチも大きな話題となりました。

サステナビリティを取り巻く国内外の動向

1月

パリ協定が始動

2015年の国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において採択された、2020年以降の地球温暖化対策に関する国際的な枠組みである「パリ協定」が、2020年1月から始動しました。世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃未満（努力目標1.5℃）に抑えることを共通目標として掲げ、各国は温室効果ガス排出量の削減目標に向けて取り組んでいます。

2020年

12月

ダボス会議（世界経済フォーラム年次総会）

2020年1月のダボス会議は、「ステークホルダーがつくる持続可能で結束した世界」をテーマとして開催されました。地球環境問題と、その一因とされる資本主義についての再定義が大きな焦点となり、サステナビリティについて多くの議論がなされました。ステークホルダーに配慮し、気候変動や社会格差などの社会的課題に向き合うことの重要性が再認識されました。



COP25（第25回気候変動枠組条約締約国会議）

2019年12月、スペインで開かれた気候変動対策の国連会議「COP25」は、各国に温室効果ガス排出削減目標引き上げを促す成果文書を採択しました。小泉進次郎環境大臣は、多くのCO²を排出する石炭火力利用を進める日本の政策について「世界的な批判は認識しており、COP25までに石炭政策について新たな展開に至らなかったが、日本は脱炭素化を必ず実現する」と述べました。



小泉進次郎環境大臣
出典：環境省 Twitter 2019年12月11日

SUSTAINABILITY

サステナビリティ

当社グループの社会的課題への取組みの歴史

1888年

日本初の火災保険会社として東京火災（現損保ジャパン）が創業。火事の多い東京で、24時間365日体制でお客さまを火災から守るため、私設消防団を設置



吉原大火錦絵

1992年

リオの地球サミット・ジャパンデーに、経団連ミッションの団長として当時の安田火災（現損保ジャパン）の社長が参加



1993年

- 「市民のための環境公開講座」開始 (24ページ)
- 「SOMPO ちきゅう倶楽部」の発足 (27ページ)

1997年

ISO14001 (環境マネジメントシステム) 認証取得 (国内金融機関初)

1888年

1965年

1990年

1995年

1965年

「黄色いワッペン」贈呈事業開始 (16ページ)

1992年

「地球環境室」設置 (国内金融機関初)

1998年

「環境レポート」発行

SOMPO グループの新型コロナウイルスへの対応

SOMPO ケア

SOMPO ケアでは、事業所の消毒作業を強化するとともに、標準感染予防策に基づくサービスの提供、ご利用者さま・職員の体調確認徹底などの感染拡大防止策を実施し、ご利用者さまの支援に努めています。また緊急事態宣言下で最前線で懸命にサービスを提供する全事業所・施設に勤務する社員に対し手当 (正社員3,000円/日、時給者375円/時 (1日3,000円限度)) を付与しました。



インタビューは
こちらから! ▶



SOMPOケアで働く4名の職員にインタビューを行い、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響下での困難やご利用者さまへの想い、仕事へのやりがいについて、実際の写真を交えて紹介しています。

当社グループの源流である東京火災は 1888 年、「火災から人々を守る」という使命感から日本初の火災保険会社として誕生しました。人口減少や少子高齢化、気候変動、そしてテクノロジーの進化など、私たちを取り巻く環境が大きく変化するなか、「人のために」「社会のために」という使命感を持ち、社会的課題の解決に取り組んでいます。



1999年
エコファンド『損保ジャパン・グリーン・オープン
(愛称：ぶなの森)』の運用を開始

2015年
介護事業に
本格参入



SOMPO リスクマネジメント

SOMPO リスクマネジメントは、2020年2月から、企業向けの「新型コロナウイルス企業対応サポートサービス」の提供を開始しました。専門コンサルタントが、アドバイザリーサービス、BCPコンサルティングサービス、情報収集支援サービスを提供して、新型コロナウイルスの影響に伴う企業の課題解決をサポートします。

アドバイザリーサービス

各種専門コンサルタントがご相談に対応します

- 従業員の出勤・勤務体制
- 出張・会議の取扱い
- 株主総会・入社式等の企業行事
- 採用活動の実施
- り患者が発生した場合の広報対応
- ネット炎上対策

BCPコンサルティングサービス

新型肺炎への対応体制構築を支援します

- BCP (事業継続計画) 専門のコンサルタントが
①策定 ②見直し ③訓練をサポートします

情報収集支援サービス

WEB上の情報を迅速に収集し、リスクの芽を摘む

リスクモニタリング

自社の評判や従業員のSNS投稿を収集し分析。
緊急通知や対応相談でご支援します

特定テーマに関する調査レポート

特定テーマに関する世の中の論調、評判を調査しご報告
例) 競合他社のサービス提供状況や評判の比較調査

損保ジャパン

損保ジャパンは、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に非対面・非接触による商取引のニーズが高まっていくことをふまえ、2020年4月6日から特別措置として非対面での保険契約手続きの対象をすべての保険商品・契約手続きに拡大しています。

非対面手続きに資する特別措置終了以降も、引き続きお客さまの希望に応じた対応を可能にするため、電話募集の範囲拡大など「非対面による保険契約手続きの対象拡大」を実施予定です。



洋上風力発電事業者向け「ONE SOMPO WINDサービス」の販売開始 ～洋上風力固有のリスク評価サービスと包括保険を一気通貫で提供～

損保ジャパンと SOMPO リスクマネジメントは、洋上風力発電事業者を対象に建設作業から事業運営までのリスク評価およびリスクを包括的に補償する保険をセットで提供する「ONE SOMPO WIND サービス」を 2020 年 7 月より開始しました。包括的なサービスと安定的な保険提供を実現し、二酸化炭素の排出が極めて少ない洋上風力発電事業の普及を促進することで、気候変動の緩和に向けて貢献していきます。

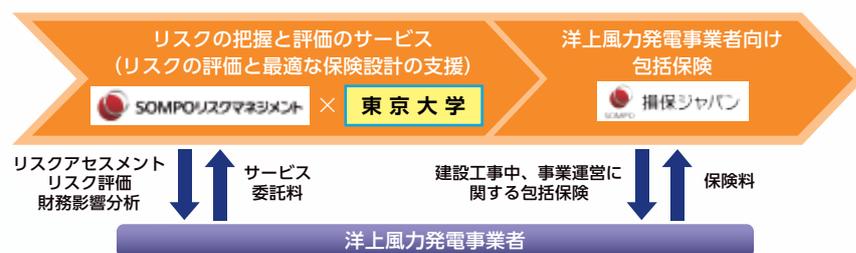
① リスク評価

SOMPO リスクマネジメントは、日本の洋上風力発電における固有のリスクを評価するために、東京大学との共同研究のもと、リスク評価モデルを開発しました。このリスク評価モデルは、東京大学の最新の研究成果や国内外の研究機関が収集したデータに加え、保険会社として培ってきたリスク分析技術を融合したもので、これまで評価が難しかった日本の洋上風力発電固有のリスク評価を可能にしました。

② 包括保険

損保ジャパンは、国内の洋上風力発電事業者を取り巻くリスクを包括的に補償します。洋上風力発電設備の建設作業に伴うリスク、および完成後の事業運営に伴うリスクを対象とし、洋上風力発電設備に損害が発生した場合や建設作業中・事業運営中の事故、設備修理時の費用などを補償します。

サービス概念図



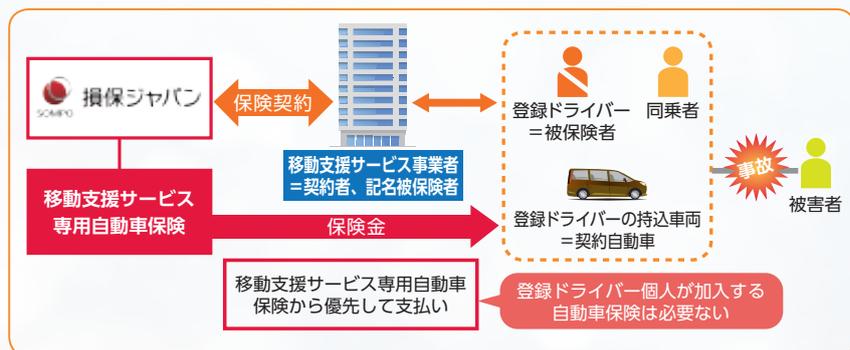
移動支援サービス専用自動車保険 ～地域の移動を支える保険～

業界初

損保ジャパンは、高齢者の移動支援を担うボランティアドライバーを対象に、2019 年 6 月より『移動支援サービス専用自動車保険』を提供しています。公共交通が十分でない地域では、運転免許返納後の高齢者をはじめ、日常の移動に不自由を感じている方々への対応が、大きな社会課題となっています。ボランティアドライバーの方が自家用車で移動支援サービスを提供している場合、万が一事故が発生した際には、ボランティアドライバー自身が契約する自動車保険を使用することとなり、ドライバー確保の課題の一つとなっていました。

本商品は、登録ドライバーが自家用車を移動支援サービスに使用している間の事故について、移動支援サービスを提供する団体等が契約者となる同保険から優先して保険金をお支払いします。

これにより、同保険の補償する範囲においては、登録ドライバー自身が契約している自動車保険を使用する必要がなくなり、地域交通のサステナビリティに貢献します。



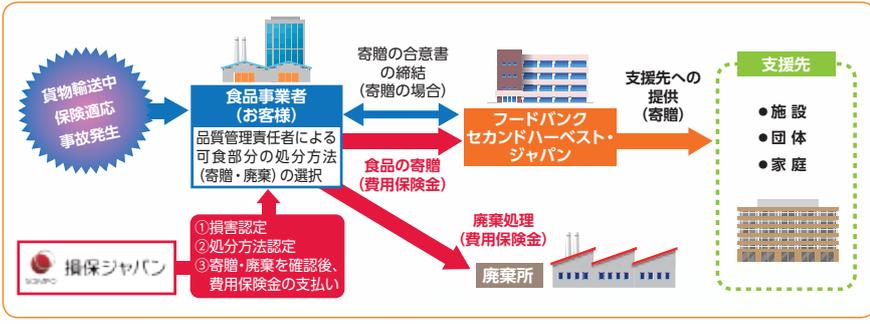
解決に向けた商品・サービス

食品ロス削減に寄与する費用保険 業界初

損保ジャパンは、日本初のフードバンクであるセカンドハーベスト・ジャパンと連携し、まだ食べられるにもかかわらず、様々な理由で市場価値を失った食品をフードバンクに寄贈することにより、食品ロスの削減に寄与する新たな仕組みを構築し、寄贈にかかる費用を補償する保険の販売を開始しました。

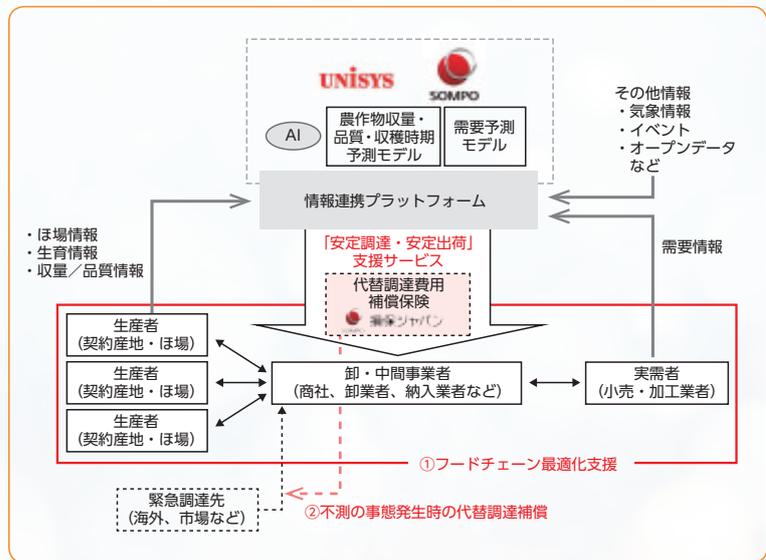


食品輸送中の事故により、食品そのものは全く被害を被っていないにもかかわらず様々な理由で市場価値がないと判断された食品が多く存在しています。一方で、食品ロス削減は、SDGsの持続可能な開発目標の1つとして、食品業界が抱える大きな課題となっています。この状況を踏まえ、当社は食品輸送中の事故により市場価値がなくなると判断された食品をセカンドハーベスト・ジャパンへ寄贈し、寄贈にかかる費用を保険金で補償する商品を開発し、食品事業者を対象に2019年11月から販売しています。なお、セカンドハーベスト・ジャパンに寄贈した食品は、生活困窮家庭等に提供することで、生活支援に役立てています。



農作物卸・中間事業者向け「安定調達・安定出荷」支援サービス・保険の共同開発 ～気象リスクなどによる生産量・需要量の変動リスク安定化に貢献～

SOMPOホールディングスと損保ジャパン、SOMPOリスクマネジメント、日本ユニシスは、フードチェーン上で農作物を仲介する卸・中間事業者向けの「安定調達・安定出荷」支援サービスおよび保険の開発に連携して取り組んでいます。本サービスの提供にあたっては、各社がこれまで蓄積してきた気象リスクに対する保険の引受けやリスクマネジメントサービス、フードチェーン分野におけるデータシステム連携、行政や民間企業が保有する各種データを活用したAIによる需要予測などの知見を融合して開発していきます。





高齢者の運転寿命延伸を支援する「運転シミュレーター」の開発

損保ジャパンと株式会社セガ・ロジスティクスサービス（以下「セガ・ロジスティクスサービス」）は、高齢者の事故の削減を目的として、運転に関する認知機能や運転技能を診断・トレーニングできる機能を備えた「運転シミュレーター」を共同で開発し、2020年3月から提供を開始しています。

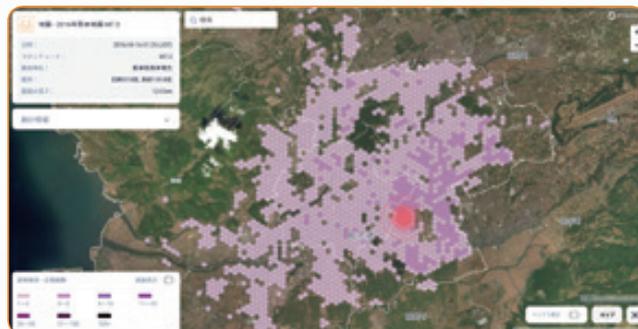
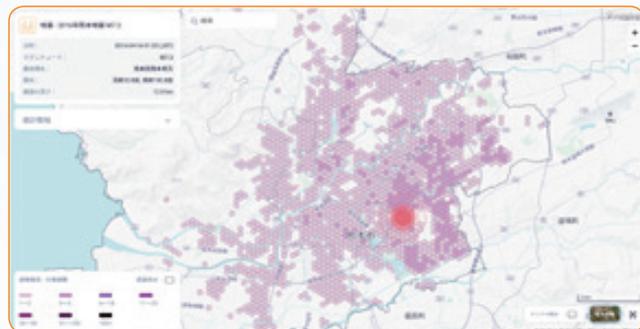
昨今の高齢ドライバーによる事故の増加を背景に、75歳以上の方の運転免許更新時における認知機能検査導入や高齢者向け限定免許制導入の検討など、高齢者の事故の削減が重要な課題となっています。また、事故を未然に防ぐためには、運転者自身が運転に関する認知機能や運転技能の状態を把握し、機能維持や技術向上のトレーニングを行うことで、健康で安全に運転できる状態を維持していくことが重要といえます。

そこで損保ジャパンおよびセガ・ロジスティクスサービスは、高齢者の事故削減に向けて運転シミュレーターを共同で開発し、多くの方々に利用いただくことで事故の削減と安全なクルマ社会の実現を目指しています。



AIを活用した防災・減災システムの開発・提供

当社は地域防災力向上のため、One Concern, Inc. および株式会社ウェザーニューズとAIを活用した防災・減災システムの共同開発に関する業務提携を締結しました。この第1弾プロジェクトとして、熊本市で「地震」と「洪水」の被害シミュレーションを行うシステムの開発・実証を展開中であり、災害に強いレジリエントな都市づくりに貢献するとともに、地域の皆さまの「安心・安全・健康」に資するサービスの実現を目指します。



地震による被害予測画像（地図版と衛星版）

解決に向けた商品・サービス



スマホのトラブルからお子さまを守る 法律相談サービス付き「こどもスマホ保険」

業界
初

SOMPO グループの少額短期保険会社である Mysurance 株式会社は、スマートフォンを持つお子さまの万が一のトラブルに備える「こどもスマホ保険」を開発し、2020年2月から提供を開始しました。お子さまのスマホの破損・故障や盗難・紛失等の補償に加え、SNS いじめや課金トラブルなど保護者の方が不安を抱いているお子さまのスマホトラブルに対して、無料で弁護士に法律相談できるサービスを付帯しています。

学校現場では防犯・防災の観点などからお子さまのスマホ持込みを許可するケースが増えている一方、インターネットを介して多くの人とつながることで発生しうるお子さまのトラブルに対して、保護者の方は大きな不安を感じています。「誰もが楽しく安心してスマホを使えるように。」そんな想いから Mysurance の「こどもスマホ保険」は誕生しました。

また Mysurance は、学校での情報モラル教育に関して多くの実績を持つ国立大学法人静岡大学教育学部 塩田研究室との産学連携共同研究に取り組み、親子で学べる対話型の情報リテラシー教材を開発、提供しています。今後もこのような取組みを通じて、近年大きな社会課題となっているお子さまのスマホ利用にまつわる様々なトラブルの減少に取り組んでいきます。

MYSURANCE
こどもスマホ保険
スマホ本体の補償に加えて、
お子さまのスマホトラブルに関する法律相談サービス付き

- SNS いじめ
- 個人情報 拡散
- 著作権 侵害
- 課金 トラブル
- 歩きスマホ トラブル

▼詳しくはこちら



マラリア保険～伝染病根絶への貢献～

SOMPO インドネシアは、2030年までにアジアのマラリア撲滅を目指す民間運営組織「M2030」に2019年8月に金融機関として初めて参画しました。

マラリア感染地域における低所得者層の経済的負担を減らすことを目的として、マラリア感染の治療費を補償する保険の開発や、保険売上の一部を M2030 に寄付するスキームの構築に取り組んでいます。

M2030 のステークホルダーと協業し、伝染病の根絶に貢献していきます。



Global Fund / John Rae

グループCSR重点課題 ～安心・

当社グループは、事業活動を行うなかで取り組むべき社会課題を絞り込み特定したグループCSR重点課題に基づき、経営理念である「安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供することで、社会に貢献すること」を目指し、取り組んでいます。



重点課題 1

防災・減災への取組み



重点課題 2

健康・福祉への貢献



重点課題 3

地球環境問題への対応



重点課題 4

よりよいコミュニティ・社会づくり



重点課題 5

ダイバーシティの推進・啓発



安全・健康のテーマパークの実現に向けて～

詳細は33Pへ ▶ 重点課題の特定プロセス

3つの 重点 アプローチ

1 金融機能やデジタル技術などを活かした革新的な商品・サービスの提供

2 人材育成を意識したNPO／NGOなどをはじめとするさまざまなステークホルダーとの連携

3 継続的に支援し、培ってきた文化・芸術を通じた取り組み

目指す姿

防災・減災に資する商品・サービスなどの提供やさまざまな組織との協働プロジェクトを展開し、人々が安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献している。

質の高い介護・ヘルスケアサービスなどの提供や健康・福祉の増進に資するプロジェクトを展開し、あらゆる人々がよりよく生活できる社会の実現に貢献している。

気候変動への適応と緩和、生物多様性の保全などにバリューチェーンで対処し、新しいソリューションを提供することで、持続可能な社会の実現に貢献している。

社会貢献活動や地域の文化振興に資する活動などを通じ、ステークホルダーからもっとも信頼される企業グループとして、よりよいコミュニティ・社会の実現に貢献している。

基本的人権を尊重し、多様な個性を認め、ダイバーシティを推進することで、社員を含めたステークホルダーが活躍できる社会の実現に貢献している。



重点
課題

1

防災・減災への取組み



防災・減災費用保険

豪雨や台風による水害が相次ぐなか、損保ジャパンでは2017年4月より、自治体向けに自然災害時の避難にかかる費用を補償する保険を提供しています。避難所の設置や生活必需品の確保、物品の輸送費にかかる費用、自治体職員の超過勤務手当の費用等を保険金としてお支払いします。2020年5月時点で、全国の400以上の自治体に加入いただいています。



株式会社ウェザーニューズ提供

保険業界

初



業界をリード!立ち入り困難な災害被災地等でのドローン活用

損保ジャパンでは、事故や災害発生の直後に迅速かつ確に被害状況を把握し、より迅速な保険金支払いを目的として、保険業界で最も早くからドローンの運用体制を整備し活用しています。

また、その活動は保険金の支払いのみでなく、熊本地震における不明者捜索や山岳遭難者の捜索活動支援、さらに各種被災の未然防止に係る調査なども含め災害や事故の対応に関する様々な分野におよびます。

これらの経験や知見を踏まえ、SOMPO リスクマネジメントにおいて、リスクマネジメント分野における利活用を目指して各種研究開発や支援サービスの拡大を進めています。



より早い保険金のお支払いと修繕工事を実現



ウェアラブル端末 (スマートグラス) を活用した損害調査、ドローンを活用した建物診断サービス

損保ジャパンでは、火災保険の対象となる事故で、お客さまから修理業者の紹介依頼があった場合などに、グループ会社であるフレッシュハウスをご紹介しています。フレッシュハウスでは現地で損害の確認を行う際に、ウェアラブル端末を活用し、専任オペレーターが遠隔サポートを行います。またドローンを活用した建物診断サービスにより、地上からは確認しにくい屋根等について、短時間かつ高精度な建物診断を実現しています。こうした取組みにより、修繕工事および保険金お支払いにかかる期間の短縮につなげています。



現場調査

映像共有



指示



オペレーター

「LINE」を活用した 事故受付・事故対応サービス

保険業界

初

損保ジャパンは「LINE」アプリを活用した事故受付・事故対応サービスを2018年10月から開始しています。

自動車保険・火災新種保険・傷害保険・海外旅行保険で24時間・365日、LINEで事故のご連絡ができるほか保険金請求に必要な情報を損保ジャパンに迅速かつ簡単にお送りいただくことができ、事故受付から保険金請求手続き完了までの期間が従来の2～3週間から最短30分に短縮可能となりました。今後もLINEをプラットフォームとしたメニューを拡充し、スマートフォンのみでお手続きが完結する新たなサービスを提供してまいります。またセゾン自動車火災でも、2019年7月から「LINE」アプリを活用した事故対応サービスを開始しました。その後サービスを事故受付や契約内容の変更手続きにも拡大しており、お客さまの利便性向上に努めています。



全国延べ
355回
開催
(2019年度末)

参加人数
54,000
人以上
(2019年度末)

大切な人を想うと、防災を学びたくなる

防災ジャパンダプロジェクト

© JAPAN-DA



損保ジャパンは、将来を担う子どもたちとその保護者を対象に、災害から身を守るための知識や安全な行動を学んでもらうことを目的として、「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を実施しています。

新型コロナウイルスの環境下においても、場所を問わずに楽しく防災について学べる動画コンテンツを公開しています！



「ALSOK事故現場 安心サポート」の提供

通販型
自動車保険
業界初[※]

累計出動件数
約7,500件
(2019年度末)

セゾン自動車火災の『おとなの自動車保険』をご契約のお客さまが事故に遭われた場合、全国約2,400の拠点からALSOK隊員が現場にかけつけ、事故状況などを確認し、保険会社へ連絡することで、迅速かつスムーズな事故対応のサポートを実現します。

※ ALSOK 隊員がモバイル端末を活用して事故情報を連携するサービスにおいて



LINEほけん

「LINE ほけん」は、旅行・自転車・ゴルフ・賃貸・季節のイベントといった生活シーンごとの保険や家族構成に合わせた保険など多彩で身近なラインナップを揃えており、必要なときに「LINE」アプリ上で保険料 100 円から加入でき、保険料は「LINE Pay」で支払いができます。2019 年 5 月には、12 時間単位でご加入が可能な「半日からの自動車保険」の提供を開始しました。また、損保ジャパンの子会社で少額短期保険業を営む Mysurance 株式会社は、2019 年 3 月に「LINE」のトーク上で大切な人へ保険を贈れる「贈るほけん地震のおまもり」を、同年 12 月には企業からお守り感覚で 1 日分の保険がもらえる「REWARD ほけん」の提供を開始しました。



業界初
の
機能搭載

あなたのカーライフを変えるカーナビアプリ

テレマティクスを活用した 安全運転支援サービス

『スマイリングロード』

損保ジャパンは、お客さまの安全なカーライフを支援し安心・安全なクルマ社会を実現するべく、業界初のテレマティクスサービスとして、法人向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』の提供を 2015 年 3 月から開始しました。通信機能付きドライブレコーダーを活用し、ドライバーの継続的な安全運転意識向上と管理者の効率的な指導を支援するもので、運転状況の「見える」化とドライバーを「ほめる」機能の相乗効果により、自動車事故の削減につなげています。

『ポータブルスマイリングロード』

2016 年 1 月には個人向けに安全運転カーナビアプリ『ポータブルスマイリングロード』の提供を開始しました。ナビタイムジャパン社提供の「高機能カーナビ」や、保険会社ならではの「安全運転診断」、「ワンブッシュ事故連絡」といった独自機能が無料で利用でき、安全なドライブを実現します。2018 年 1 月には国内の損害保険会社としては初めて、主に初めて自動車保険に加入される方向けに、『ポータブルスマイリングロード』の運転診断結果と連動し、自動車保険料を最大 20% 割り引く「安全運転割引」を開始しました。



紹介動画は
こちら! ▶



ドライブレコーダーを活用した個人向け安全運転支援サービス

『DRIVING! ~クルマのある暮らし~』



『DRIVING! ~クルマのある暮らし~』(以下、『ドライビング!』)は、運転歴の浅い方や運転に不安を覚える方、高齢者やそのご家族に安心を提供する、ドライブレコーダーを活用した個人向けテレマティクスサービスです。「安全運転支援機能」を搭載した通信機能付き専用ドライブレコーダーにより運転中の安心をご提供するだけでなく、運転後の「安全運転診断」等により、運転技術のセルフメンテナンスをサポートします。また、万が一の事故の際も、ドライブレコーダーの衝撃検知による「事故時通報機能」や国内大手損保で初めてとなる ALSOK と連携した「事故現場駆けつけサービス」をご提供し、安心・安全なカーライフをトータルサポートします。

※『ドライビング!』は「ドライブレコーダーによる事故発生時の通知等に関する特約」を付帯された方に提供されるサービスです。

紹介動画は
こちら! ▶



交通安全を願って56年

黄色いワッペン贈呈事業

損保ジャパンの交通事故傷害保険付



累計贈呈枚数
約**6,761**
万枚
(第56回まで)

損保ジャパンは、みずほフィナンシャルグループ、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険株式会社の3社とともに、交通安全の啓発と交通事故防止を目的に全国の新小学一年生に交通事故傷害保険付き「黄色いワッペン」を贈呈しています。この事業は、お子さまを交通事故で亡くされた母親の訴えが紹介された新聞記事がきっかけで1965年にスタートし、2020年で56年目となりました。



交通安全教室の様子

「交通安全プロジェクト」 inインドネシア

地域貢献プロジェクト

当社は、PT Sompo Insurance Indonesia と連携し、子ども支援専門の国際組織である（公社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で、交通事故による子どもの死亡者数が東南アジア最大であるインドネシアの小中学生を対象に交通安全事業を実施しています。2018年から、ジャカルタ首都特別州で新たに4年間の交通安全事業を開始しています。



© YSTC/Save the Children in Indonesia

SOMPO ホールディングス × Save the Children JAPAN

ドラえもん交通安全 キャンペーン

地域貢献プロジェクト

交通事故が深刻な社会問題となっているベトナムにおいて、日本でも50年以上にわたり交通安全の取り組みとして定着している「交通安全コピー募集」や小学生を対象に展開している「交通安全教室」を中心とした「ドラえもん交通安全キャンペーン」に参画しています。



地域貢献プロジェクト

損保ジャパンは、お客さまがご契約時に、「Web証券」や「Web約款」を選択いただいた場合や、自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことをお願いしています。これにより削減できたコストの一部を原資に、国内外の自然環境を守るとともに次世代育成を意識しながらサステナブルな社会の実現に取り組む「地域貢献プロジェクト」を実施しています。(23ページにも取り組みを掲載しています)



重点 課題 2

健康・福祉への貢献



SOMPO認知症サポートプログラム ～認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会を～

当社グループは、「認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会」を目指し、「SOMPO 認知症サポートプログラム」を展開しています。2018年10月には、認知機能の低下予防を目的としたWebサービスである「SOMPO 笑顔倶楽部」を開始しました。SOMPO ひまわり生命が提供するMCI（軽度認知障害）・認知症と診断された際に一時金が支払われる保険「リンククロス笑顔をまもる認知症保険」と損保ジャパンが提供する介護離職を防止する保険「親子のちから」等の共通の付帯サービスとしてご利用いただけるサービスです。

商品・サービスのポイント



リンククロス笑顔を まもる認知症保険

限定告知認知症一時金特約付払込期間中無解約返戻金限定告知骨折治療保険

“なる前”からのサポートも、
“なった後”の保障も

認知症だけでなく、MCIと診断された場合にも一時金を受け取れる保険商品です。



SOMPO ケア

認知症ケア

認知症になってもその人らしく暮らし続けられるよう、ご利用者さまの想いを聞き、健康状態や生活環境などの観察をもとにケアを行います。



親子のちから

働く世代の介護離職に ストップ！

働く世代の介護離職にストップ！親を介護しながら働く子の介護費用を補償し、介護離職を防止する団体向けの保険商品です。



SOMPO 笑顔倶楽部

認知症に関する トータルサポート！

認知機能チェックや認知機能低下の予防に資するサービス、認知症の基礎知識や介護に関する情報を提供するWebサービスです。



超高齢社会を支える

フルラインナップの介護サービス

当社グループは、皆さまに「安心・安全・健康」をお届けするために保険にとどまらない幅広い事業を展開しています。SOMPO ケアは、多くの高齢者やそのご家族の多様なニーズにお応えするため、在宅介護から施設介護まで、フルラインナップのサービスを提供することで、拡大する需要を支え、社会的課題の解決を通じて「世界に誇れる豊かな長寿国日本」の実現に貢献していきます。



認知症の方や家族を温かく見守り、支援する応援者

認知症サポーターの養成

当社グループは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の方や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成を進めています。各職場で認知症サポーターを養成する講師役となるキャラバン・メイトのもと、認知症サポーターの養成を行い、ご高齢の方や認知症の方へ配慮した対応ができるグループとなれるよう取り組んでいます。



※当社グループの役職員および損保ジャパンの保険代理店従業員の認知症サポーターおよびキャラバン・メイトの合計人数は、2020年3月末時点で17,023人です。
(グループ内役職員13,032人、代理店従業員数3,991人)

より質の高い介護を目指して

SOMPOケア ユニバーシティ (東京・大阪)

SOMPO ケアは、すべての従業員が介護のスペシャリストとして成長を感じられる場として、「SOMPO ケアユニバーシティ」を東京と大阪に開設しました。実際の施設と同様の居室・設備を再現した業界初の研修施設です。従業員一人ひとりの学びと成長をサポートし、質の高い介護サービスを提供する人材を育てる実践的な教育を行っています。質の高いプログラムを提供する一方、さまざまな教育・研究機関と連携したオープンな企業内大学として運営しており、2017年7月の開設以来、延べ64,739名が受講しています。



Future Care Lab in Japan

～「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護の創造プロジェクト～



当社グループは、2019年2月に「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護のあり方を創造するプロジェクト「Future Care Lab in Japan」を始動し、国内外の最新テクノロジーの実証などを行う研究所を開設しました。

ICT・デジタル技術の有効活用と、人が本来やるべき介護を改めて定義することを通じて、「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護のあり方を提案し、介護サービスの生産性向上、介護職の処遇および働きやすさの向上、ご利用者さまの日常生活の充実度や満足度向上の実現を目指しています。

健康サービスブランド



SOMPO ひまわり生命は、生命保険のその先へ、お客さまが健康になることを応援する「健康応援企業」への変革を目指し、新たな価値を提供するフロントランナーとして健康サービスブランド「リンククロス」を立ち上げました。「リンククロス」は、健康を軸とした革新的な商品や、アプリを中心とした健康関連サービスを展開していきます。このアプリは、ご契約者さま以外でも無料で利用が可能です。

健康情報アプリ



最新の分析技術でお客さまが読む記事の傾向を学習し、健康を軸とした最適な記事を配信する健康情報アプリです。利用状況に応じてオススメの記事を配信します。一人ひとりに合った運動・食事・生活習慣などに関する最適な情報をお届けするため、使えば使うほど、自分専用のアプリに成長します。



ios 版



Android 版

アプリのダウンロードはこちら！▶



健康促進のための お散歩アプリ



「毎日」「無理なく」「楽しく」「歩く」ことを目的としたお散歩アプリです。散歩中の発見を写真やコメントで共有したり、全国 1300 コース以上（2020 年 3 月末時点）のおすすめ散歩コースから選んで歩くことができます。また、端末を持ち歩くだけで、歩数や消費カロリー、距離を記録できます。継続的な歩行を促すことで、健康促進を図るアプリです。

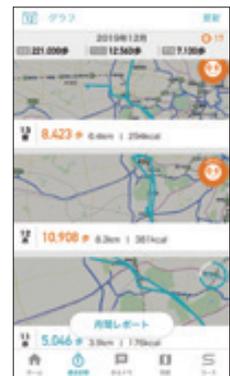


ios 版



Android 版

アプリのダウンロードはこちら！▶



Insurhealth®: インシュアヘルス

SOMPO ひまわり生命は、保険本来の機能 (Insurance) に健康を応援する機能 (Healthcare) を組み合わせた、従来にない新たな価値「Insurhealth® (インシュアヘルス)」を提供します。

リンククロス ピンク

リンククロス ピンクは、乳がんの早期発見・万が一の保障・罹患後のケアまでトータルでサポートする、自分らしく生きる女性を応援するための活動です。保険会社としてのいざというときのサポートを越えて、乳がんになってもならなくても、イキイキとあなたらしく毎日を過ごしてほしいという女性社員の想いから誕生しました。

糖尿病の方のための医療保険「ブルー」

2019年12月、糖尿病患者向けの医療保険ブルー（糖尿病患者向一時金給付医療保険）を発売しました。国内の糖尿病患者数は約300万人おり、代表的な慢性疾患で年々罹患数が増えています。そのため糖尿病患者の治療の継続を支援することを目的として、保険+重症化予防という新たな価値を提供いたします。

生活習慣病重症化予防を応援する「健康をサポートする医療保険 健康のお守り」

2020年6月、「健康をサポートする医療保険 健康のお守り」(医療保険 (MI-01)) を発売しました。本商品は、お客さまが健康回復支援給付金を請求した際に、生活習慣病に関するサポートサービスなどお客さまに必要なサービスを提供することで、従来の治療費のサポートの役割に加え、お客さまに重症化を予防する健康サービスを提供しています。



『禁煙推進企業コンソーシアム』の様子

健康経営における禁煙の取組み

SOMPO ひまわり生命は、WHO（世界保健機関）から社員の受動喫煙防止を先立って達成した企業として認められ、2018年8月に北京で開催されたWHO主催の禁煙革命のイベント「Revolution Smoke-Free（禁煙革命）」へ参画しました。2019年4月には社内禁煙の取組みをより一層強化し、全社員就業時間内禁煙を導入するとともに2020年4月入社対象の新卒採用の募集要項に、「入社時点で非喫煙者であること」を明記しています。また、同年4月には公益社団法人東京都医師会や公益財団法人日本対がん協会と連携して設立された『禁煙推進企業コンソーシアム』に参加し、禁煙推進のリーディングカンパニーとして登壇をしました。今後も社内禁煙の取組みを継続するとともに、社員とその家族の健康維持・増進に努めてまいります。

障がい者がアートで夢を叶える世界をつくる

「SOMPO パラリンアートカップ」の支援



損保ジャパンは、トップスポンサーとして、(一社)障がい者自立推進機構が主催する「パラリンアートのコンテスト」に参画しています。パラリンアート（障がい者が作成する美術作品）が国内外に広く周知されることを目的としており、2019年度は、(一社)日本プロサッカー選手会・(一社)日本バスケットボール選手会・(一社)日本ラグビーフットボール選手会などの協力のもと、すべてのスポーツをテーマとしたアート作品を募集し、全国から703点の作品をご応募いただきました。アート、スポーツをはじめ各界の第一線で活躍する著名人が審査に加わり、73作品が入賞作品として表彰されました。2019年度はラグビーの入賞作品を中心に、秩父宮ラグビー競技場に展示するなど、多くのお客さまにご鑑賞いただきました。



介護福祉士を目指す学生を支援して28年

介護福祉士養成のための奨学金制度

奨学金総額

2億円
(2019年度末)

(公財) SOMPO 福祉財団では、社会福祉の分野で人材不足となっている介護福祉士を目指す学生を支援することを目的に、1992年から返済義務のない奨学金を支援する制度を続けています。2019年度までの28年間で288人を支援しました。2020年度からは2年制専修学校生に加え、福祉系高等学校生も応募対象としています。

「育つかに寄り添う」認可保育園

SOMPOスマイルキッズ 江戸川橋保育園

2011年設立の(一財) SOMPO スマイルキッズは、東京都文京区にて認可保育園「SOMPO スマイルキッズ江戸川橋保育園」を運営しています。一人ひとりの存在を大切に受け止めることを通じて、生活の場であり教育の場でもある保育園において、個が輝き、集団としても充実した日々を送り、保護者や地域の皆さまに喜ばれる保育園を目指しています。また、ワークライフバランスの実現に向け優れた取組みを実践する事業者として、「東京ライフ・ワーク・バランス認定企業・知事特別賞」を受賞(2017年度)するなど、保育者の就業環境の維持、向上にも注力しています。





重点
課題 3

地球環境問題への 対応



農業保険のグローバル統合プラットフォーム

『AgriSompo』

海外保険事業を展開する SOMPO インターナショナルは、グローバルマーケットにおける統合プラットフォームである『AgriSompo』を展開し、主に北米・ヨーロッパの農業マーケットにおいて保険・再保険商品を幅広く提供しています。

『AgriSompo』により、農家・農業事業者、農業保険会社に対して統一的な基準で保険引受（アンダーライティング）を行い、一連の商品に対する専門知識と技術を提供することで、世界の農業分野の発展に貢献していきます。

東南アジアでの天候インデックス保険の提供

当社グループは、気候変動の影響を受けやすい農業が主な産業である東南アジアにおいて、農業経営リスクの軽減を目的とした『天候インデックス保険』を提供しています。『天候インデックス保険』とは、気温、風量、降水量などの天候指標が、事前に定めた一定条件を満たした場合に定額の保険金をお支払いする保険商品です。

2010年、タイの稲作農家の干ばつ被害の軽減を目的として『天候インデックス保険』の販売を開始しました。タイ農業協同組合銀行（BAAC）と協働し、BAACが窓口となり、ローン契約者である農家に対して保険販売を行うことで安心して加入できるスキームを構築しました。

ミャンマーでは、米農家とゴマ農家を対象に、干ばつリスクの軽減に対応した『天候インデックス保険』を一般財団法人リモート・センシング技術センター（RESTEC）と共同で開発しました。この保険では、地球観測衛星から推定された雨量データを活用しています。

これらの成果が認められ、本取組みは、国連開発計画（UNDP）が主導する、商業活動と持続可能な開発を両立するビジネスモデルの構築を促進する「ビジネス行動要請（BCtA）」に定める取組みとして、2015年に認定されました。

2019年2月には、タイにとって主要輸出農業作物であるロンガン農家向けの天候インデックス保険を販売しました。

今後も気候変動の「適応」策としての保険商品の開発・普及を進めるため、商品内容の改定、タイ国内の他県への展開、対象作物の多様化や他国での展開など幅広く検討していきます。



ヒアリングサーベイの様子

環境保全に貢献する投資信託

エコファンド 『損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）』

SOMPO アセットマネジメントは、環境問題に積極的に取り組む企業に投資を行う投資信託『損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）』の運用を1999年に開始しました。本投資信託を購入することで投資家の資金が間接的に環境保全に貢献することが期待されます。2018年度は、長期に渡る先駆的な活動と高い運用パフォーマンスの両立等を評価され、「21世紀金融動原則」の最優良取組事例として、「環境大臣賞総合部門特別賞」を受賞しました。また、2019年に設定20周年を迎え、記念イベントを開催しました。

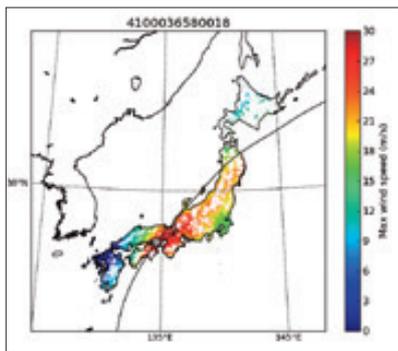
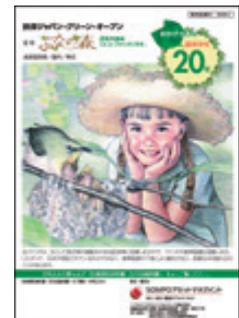


20周年記念イベントの様子



2020年
3月末時点
純資産残高
約199億円

国内の
ESG公募投信
での投資信託
最大級



台風モデル

気候変動リスク分析

気候変動が原因と考えられる自然災害の増加等、気候変動の影響が深刻化するなか、SOMPO リスクマネジメントでは、自社開発している風水災モデルを活用し、物理リスク・移行リスクのシナリオ分析や、情報開示の支援を行っています。気候変動による風水災損害の評価については、文部科学省の「気候変動適応技術社会実装プログラム」へ参画し、国立研究開発法人防災科学技術研究所と連携することで、文部科学省による気候予測データベースを風水災モデルに適用し、気温が2℃/4℃上昇した際の国内における風水災リスク評価技術を開発しています。

損害保険業界初

「エコ・ファースト企業」に認定

当社グループは、2008年に環境大臣から損害保険業界で初となる「エコ・ファースト企業」に認定されました。エコ・ファースト制度とは、各業界における環境先進企業としての取組みを促進するため、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取組みを約束する制度です。



生物多様性保全活動

SAVE JAPAN プロジェクト

地域貢献プロジェクト

イベント開催
約 **850** 回
(2019 年度末)

参加人数
約 **45,000**
人以上
(2019 年度末)



損保ジャパンは、地域の環境団体や NPO 支援センター、日本 NPO センターと協働し、毎年全国で市民参加型の生物多様性保全活動を行う「SAVE JAPAN プロジェクト」を展開しています。



ツキノワグマと人間の共生
～里山ぼうけん in 長岡～



福井県赤谷川の生き物探し・観察会

1,124人
修了
(2019 年度末)

木を植える人を育てたい

CSOラーニング制度



全国合宿の様子

(公財) SOMPO 環境財団では、大学生・大学院生を対象に、環境分野の CSO (Civil Society Organization: 市民社会組織、NPO / NGO を包含する概念) で 8 か月間のインターンシップを体験できる「CSO ラーニング制度」を実施しています。本制度は 2000 年に始まり、環境 CSO とともに、持続可能な社会に貢献できる人づくりを目指しています。2019 年 2 月からは、新たにインドネシア・ジャカルタでプログラムをスタートし、10 月に第 1 期生 19 名が修了しました。2020 年 2 月から第 2 期生が活動を開始しています。



インドネシア・ジャカルタでの
第二期キックオフセレモニー

自治体との協定による森林整備活動

損保ジャパンの森林

各自治体と協定を締結している「損保ジャパンの森林」が国内に 8 か所あり、地域の方々、社員、代理店、その家族とともに森林整備活動や環境教育を実施しています。



幅広い市民に向けた学びの場

市民のための環境公開講座

参加人数延べ

22,964人

(2019年度末)



損保ジャパン、(公財) SOMPO 環境財団および(公社)日本環境教育フォーラムの3者共催で、NPO / NGOと企業のパートナーシップ協働事業の先駆けとして、1993年から一般市民向けに環境に関する講座を開講しています。

全国どこからでもオンラインで無料で受講できます! ▶



TOPIC

2019年度の講座より

2019年度は、年間を通じて9回の講座と1回の特別講座(フィールドワークショップ)を開催しました。

7/24(水)

生物多様性と私たちの生活



五箇 公一氏
国立環境研究所 生態リスク対策室 室長

9/18(水)

食品ロスに新たな価値を



高橋 巧一氏
㈱日本フードエコロジーセンター
代表取締役(獣医師)

11/11(月)

マシンガンズ滝沢と考える
ゴミ問題



滝沢 秀一氏
芸人

エコロジカルプロジェクト

©JAPAN-DA



損保ジャパンは、自動車の修理における地球環境問題の対策として、低炭素社会、自然共生社会、循環型社会の実現を目的とした『Ecological Project (エコロジカルプロジェクト)』に取り組んでいます。『Ecological Project』とは、自動車の修理において、補修が可能な部品については補修を、交換が必要な部品についてはエコパーツ活用の推進、および交換となった部品の再資源化への取組みなど、自動車の修理により発生する産業廃棄物の抑制を目指す取組みです。この取組みは、お客さまおよび自動車の修理に関連する皆さまに、地球環境への配慮や産業廃棄物への削減にご理解をいただきながら、取組みを推進しています。今後も自動車の修理を通じて『Ecological Project』に取り組むことで、豊かで活力ある未来創りに貢献します。



重点
課題 4

よりよいコミュニティ 社会づくり



駐車場シェアリング事業「akippa」の全国展開および「駐車場シェア専用保険」の開発

モビリティサービスの利便性向上

当社は、駐車場シェアリングサービスの最大手である akippa 株式会社を 2019 年 10 月に関連会社化し、駐車場シェアリング事業の推進に積極的に取り組んでいます。また損保ジャパンと akippa は、駐車場シェアリングにおけるオーナーとユーザーのニーズを繋ぐサービスにおいて、双方がより安心して利用できるよう共同で新たな保険の検討を進め、「駐車場シェア専用保険」を独自に開発しました。akippa が提供する駐車場シェアリングサービスは、オーナーとユーザー間での万が一の事故を想定し、利用規約においてユーザーに自動車保険の加入を義務づけています。本保険の補償は、ユーザーの保険が有効に適用できないケースが発生した場合などに、駐車場貸し出し中に生じたユーザーの事故に起因するオーナー自身の物損害と傷害補償およびオーナーの賠償責任を補償するもので、2020年6月1日から akippa のサービスを利用しているオーナー所有の全ての駐車場に適用されています。



「駐車場シェア専用保険」の概要

①物損害補償	②傷害補償	③賠償責任補償
ユーザーの行為によって駐車場を構成する壁やその他設置物が損壊した場合の修理費等を補償	ユーザーの行為によってオーナー自身がケガした場合の治療費等を補償	オーナーの過失によって他人の財物の損壊やケガをさせてしまい、損害賠償責任を負担しなければならない場合の賠償金等を補償

安心・安全で革新的な車の利用スタイルを提案

当社は、2019年に個人間カーシェア事業を行う「DeNA SOMPO Mobility」およびマイカーリース事業を行う「DeNA SOMPO CarLife」を設立しました。サブスクリプションとシェアリングを組み合わせることでマイカーの実質負担を軽減し、誰もが憧れの車を持てる社会の実現を目指しています。当社の強みである保険販売網と自動車保険を通じたデータと、DeNAの強みであるAIのデジタルテクノロジーで質の高いサービスを設計し運営するノウハウを生かし、リアルとデジタルを融合させたモビリティサービスにおける新しい価値を提供していきます。

Community Enhancement Day

海外保険事業を展開する SOMPO インターナショナルは、2011年に創業10周年を記念して実施したことをきっかけに、毎年 Community Enhancement Day を実施しています。社員は各地域の慈善団体等と連携したプロジェクトに参加し、社会への貢献に努めるとともに、地域社会との関係構築を目指しています。2019年度は5か国で500人以上の社員が参加し、フードバンクや環境機関、社会福祉施設などさまざまな団体とともに活動しました。



SOMPO Digital Lab

当社は、東京・シリコンバレー・テルアビブに SOMPO Digital Lab を設置しています。これらのグローバルな拠点での情報収集力とコアコンピタンスとなるデジタルの力を活かして、グループ全社にデジタル変革を起こすことにより、お客さまに新しい価値を提供し、真のサービス産業の実現を目指します。

AI・ビッグデータ・アジャイル開発・デザイン思考といった最新のデジタル技術・手法に投資し、既存事業の徹底した省人化・高度化と、デジタル新事業の展開を推進します。具体的にはアンダーライティングやクレームサービスの AI 化、IoT を活用した保険・サービスの開発、リアルデータを活用した企業との共創ビジネスなどを行っていきます。

デジタル戦略の策定・推進及びデジタル新規事業創出・事業推進を通じ、利益への貢献とグループの DX を引き続き牽引すると共に、ポストコロナにおける「安心・安全・健康」で持続可能な社会の実現に向けて、DX の社会実装による企業や社会の課題の解決にも貢献していきます。

SOMPO Digital Lab Tokyo

当社グループのイノベーション促進のコントロールタワーとしての役割を担い、当社グループの各事業における研究開発を支援しています。



連携

SOMPO Digital Lab Silicon Valley

米国シリコンバレーにおいて最新のデジタルテクノロジーに関する情報収集や現地の有力企業等とネットワークの構築を進めています。



SOMPO Digital Lab Tel Aviv (イスラエル)

サイバーセキュリティ、ヘルスケア、モビリティなどの分野でお客さまをサポートするための提携先の発掘など最先端技術の情報収集やネットワークの構築を進めています。



地方自治体との環境・SDGsに関する連携



損保ジャパンは、地域の社会的課題の解決に向けて地方自治体との SDGs に関する連携を進めています。2018年2月に北九州市と「環境・SDGs に関する連携協定」を締結しました。再生可能エネルギー等の導入拡大や気候変動に伴う適応策の推進、SDGs の普及啓発などの活動において連携し、北九州市、日本およびアジア地域のサステナブルな社会づくりに貢献していきます。

SOMPOちきゅう倶楽部

「SOMPO ちきゅう倶楽部」は、当社グループの役職員で構成するボランティア組織です。1993年の発足以降、全国各地で代理店などと協働し、森林保全活動や清掃活動、施設を訪問して行う車いすの整備・清掃、古本の収集など、地域のニーズや特性にあったボランティア活動を全国で実施しています。2019年度は、全国で36,336人以上の社員・代理店がボランティア活動に参加しました。また、役職員の有志が任意の金額を給与から寄付する「SOMPO ちきゅう倶楽部社会貢献ファンド」を1996年に設置しました。ファンドは、同組織の活動や広域災害支援、メンバーが応援するNPOなどへの寄付に活用されています。



アジアで唯一ゴッホの《ひまわり》を鑑賞できる

SOMPO美術館



《ひまわり》1888年 フィンセント・ファン・ゴッホ
SOMPO美術館

1976年に社会貢献の一環で開館し、アジアで唯一ゴッホの《ひまわり》を鑑賞できる美術館として、これまで約600万人のお客さまにご来館いただいた美術館を、損保ジャパン本社ビル敷地内に建築された新たな美術館棟で「SOMPO美術館」にリニューアルしました。SOMPO美術館は、一つひとつの作品とじっくり向き合える展示空間のほか、買い物を楽しめるミュージアムショップや休憩スペースを併設し、国内外から幅広い世代が訪れる美術館づくりに取り組んでいます。



SOMPO美術館外観

展覧会のご案内は
こちら！



SOMPOダンスプロジェクト

当社は2019年3月から、小学校の体育授業で必修のダンスを通じて、子どもたちの健やかな成長や運動離れの解消を支援するため、日本ストリートダンススタジオ協会と「SOMPOダンスプロジェクト」を開始しました。足が速くなるトレーニング要素を振付けに含んだ「足が速くなるダンス」を教材として提供し、全国各地で教員向け研修会や、小学校にプロの講師を派遣する特別ダンス授業を開催しています。



出張ダンス授業の様子

損保ジャパン人形劇場「ひまわりホール」

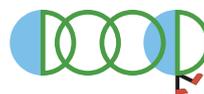


損保ジャパンは、1989年に開設した名古屋ビルの人形劇場「ひまわりホール」を地元の人形劇関係者を中心として設立されたNPO法人愛知人形劇センターと共同で運営しています。人形劇の上演、セミナー、ワークショップ、子どもアートフェスティバルの開催、P新人賞（人形劇の明日を担う斬新な才能を発掘するコンテスト）など、人形劇の盛んな地域で全国的に注目される多彩な活動を展開しています。

ひまわりホール・愛知人形劇センター創立30周年記念制作事業
『ジェニィ〜白猫ピーターの不思議な冒険』

東京藝術大学×SOMPOホールディングス

Diversity on the Arts Project(愛称:DOOR)



Diversity on the Arts Project

当社グループは、2017年4月から東京藝術大学と協働で、多様な価値観を社会に活かし、社会的包摂に寄与する人材の育成・輩出と、多様な人々が共生できる社会の創造に向け、『Diversity on the Arts Project(愛称:DOOR(ドア))』に取り組んでいます。このプロジェクトは東京藝術大学内での「アート×福祉」の体系的かつユニークな講義と、街中の拠点など社会での実践を通じて学ぶ履修証明プログラムです。

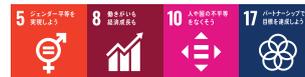




重点
課題

5

ダイバーシティの 推進・啓発



生産性向上を実現する SOMPOグループの働き方改革



テレワークの様子

新型コロナウイルス感染拡大による変化を奇貨として、生産性を最大化させる働き方を目指します。各事業の目指す姿を再定義し、「場所を問わない働き方」への転換など、「新たな働き方」への改革を加速していきます。

時間と場所の制約を取り払い、よりフレキシブルな働き方を目指して、シフト勤務制度やテレワーク勤務を活用しています。国内拠点では、新型コロナ



ウイルス感染拡大に伴い 2020 年 3 月より「原則在宅勤務」を実施しました。社員一人ひとりが高い生産性を意識して働くとともに、創出した時間を有効活用しそれぞれの持つ能力を最大限に発揮できるよう、新たなマネジメントスキルセット教育や「アウトプット主義」で働くためのワークルールの改定などに取り組んでいます。

女性活躍推進

当社グループは、「Diversity for Growth」をスローガンにダイバーシティの推進に取り組み、多様な人材が強みを発揮し活躍できるグループを目指しています。2020 年度末までにグループ全体の女性管理職比率を 30% 以上とすることを目標とし、女性のキャリアアップを支援するさまざまな取組みを積極的に行っています。女性社員の知識・スキル向上、意識・マインド変革にむけて女性育成プログラムを実施しているほか、グループ各社で独自のプログラムも実施しています。また男女ともに仕事と生活の調和を図りながら働き続けられる職場づくりを実践することが重要であると考え、損保ジャパンは 2015 年 4 月に NPO 法人ファザーリング・ジャパンが設立した「イクボス企業同盟」に加盟しました。



特例子会社「SOMPO チャレンジド株式会社」にて 障がい者雇用を促進

SOMPO チャレンジドは、「チャレンジド*」という言葉を社名に掲げ、他にはない「働きやすさ」、個人・組織にとっての「最大限の成長」、お客さまに「真に選ばれる品質」を兼ね備えた魅力あふれる「SOMPO チャレンジドパーク（ビジョン）」の実現を目指し、2018年4月に設立しました。損保ジャパンを中心に当社グループから新たな業務を受託し、着実に雇用を拡大しています。2020年6月時点、54名のチャレンジドメンバーが活躍しており、設立5年で100名の雇用拡大にチャレンジしています。

※「チャレンジド」とは、米国で「障がい者」を表現する言葉で、「挑戦すべき課題、資格や才能を与えられた人々」という意味が込められています。



LGBT理解促進

当社グループは、LGBTに対する理解促進を行うとともに、商品・サービスを通じた取組みを行っています。

お客さまに対して

損保ジャパンでは、自動車保険、傷害保険、火災保険における「配偶者」の定義を変更し、同性パートナーを配偶者とみなして補償対象に含むよう商品を改定しています。SOMPO ひまわり生命では、同性パートナーを受取人に指定されるご契約について従来確認を行っていた、被保険者と受取人の関係などの一部を省略し、よりスムーズな手続きを可能としています。

社員に対して

LGBTに対してALLY（理解者・支援者）であることを表明する社員は、ALLY宣言カードを積極的に掲示しています。ALLYの見える化により、当事者の安心感につなげるとともに職場のLGBTへの理解促進を図っています。このような取組みにより損保ジャパンは、任意団体Work with PrideからLGBTに関する取組みの評価指標で「ゴールド」認定を取得しました。

We are LGBT friendly



SOMPO INNOVATION | Innovation for Wellbeing



LGBT：[L] レズビアン（女性同性愛者）、[G] ゲイ（男性同性愛者）、[B] バイセクシュアル（両性愛者）、[T] トランスジェンダー（生まれたときに割り当てられた性別と異なる性別を生きる人、生きたいと考える人）の頭文字をとった単語

グローバルリーダー育成と人材交流プログラム

将来の当社の経営をグローバルベースで牽引できる人材を育成するため、3つの対象層向けのグループ選抜型研修等により人材を育成しています。若手層向けに、企業内大学「SOMPO Global University」（2012年度新設）を、中堅層向けには、「Global Leadership Program」（2017年度新設）、上位層には「Global Executive Program」（2018年度新設）を、国籍を問わず世界中のグループ社員を対象に実施しています。



選抜型研修 GEP (Global Executive Program) にて自身のリーダーシップ変革について発表する様子

また、海外グループ会社のナショナルスタッフを日本の各部署に受入れるグループ人材交流「Global Assignment Program」や、国内優秀人材を選抜し、SOMPO インターナショナルの海外拠点で専門性を活かした特定の職務に従事させる「Sompo International Global Trainee Program」等、グループ内での人材交流を活発化させています。



Global Leadership Program の様子

総額
19億6,040万円
(2019年度末)

社会福祉に資する活動支援

(公財) SOMPO 福祉財団は、障がいの有無にかかわらず、すべての人が地域の中でともに支えあいながら暮らすことのできる社会づくりを目指しています。国内および ASEAN 加盟国・インド・南アフリカで活躍する社会福祉分野の NPO/NGO への助成を通じた支援を行っています。



健康経営の取組み

当社グループでは、グループの経営理念である「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービス」の提供を実現するためには、その原動力である「社員および家族の健康」が大切であると考え、健康経営を推進しています。

1 社員の健康維持・増進の取組み

SOMPO グループ各社では、社員一人ひとりの健康維持・増進を実現するため、社員の健康状態に合わせた取組みを実施しています。

- 損害保険ジャパンでは、「健康レポート」で従業員の健康状態を広く共有し、「目指せ！優糖生」のキャッチフレーズとキャラクターで 血糖リスク者の低減に向けた取組みを展開しています。
- SOMPO ひまわり生命では、全社員にウェアラブル端末を無償貸与しており、歩数や心拍数、消費カロリー、睡眠時間などの日々のデータを自身で確認することで、社員の健康意識向上につなげています。

2 活力ある労働環境確保の取組み

活力ある労働環境を確保することが社員の心身の健康維持や生産性向上、ひいては企業の持続的な成長に繋がると考えています。損保ジャパンでは、社員や組織の活性化度を測るため、社員の意識調査を定期的に行っています。意識調査の結果を労働時間やストレスチェックの結果と併せて職場単位で見える化し、各職場では改善に向けた取組みを進め、社員のやりがい向上や組織の活性化に繋げています。

3 データヘルスの取組

ヘルスケア事業を展開する SOMPO ヘルスサポート株式会社の健康データ分析ノウハウを活用し、健康保険組合とも連携しながら、データヘルスに取り組んでいます。損保ジャパンでは、社員の健康診断やストレスチェックの結果、生活習慣等のデータを蓄積しており、労働時間やプレゼンティーズム^{※3}との関係性について分析を進めています。また、SOMPO ひまわり生命では、ウェアラブル端末から収集した健康状態のデータと健康診断結果やレセプトデータで分析を進めており、データヘルスの進化に取り組んでいます。

※3 プレゼンティーズムとは、心身の健康状態による生産性低下がもたらす損失を意味します。

当社は、健康経営に優れた企業として経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄 2020」に2年連続選定されました。あわせて当社グループの12社が、経済産業省および日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人 2020 大規模法人部門」に認定され、そのうち8社が「健康経営優良法人 2020 大規模法人部門（ホワイト 500）」に認定されました。



健康経営銘柄に選定された当社グループ会社

- SOMPO ホールディングス株式会社 【2年連続】



「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト 500）」認定を受けた当社グループ会社

- SOMPO ホールディングス株式会社 【4年連続】
- 損害保険ジャパン株式会社 【4年連続】
- SOMPO ひまわり生命保険株式会社 【4年連続】
- SOMPO ヘルスサポート株式会社 【4年連続】
- SOMPO コミュニケーションズ株式会社 【2年連続】
- 株式会社プライムアシスタンス 【2年連続】

- 損保ジャパンキャリアビューロー株式会社 【2年連続】

- 損保ジャパンパートナーズ株式会社 【初選定】

「健康経営優良法人 大規模法人部門」

- SOMPO リスクマネジメント株式会社 【4年連続】
- SOMPO ビジネスサービス株式会社 【4年連続】
- SOMPO システムズ株式会社 【2回目】
- SOMPO ビルマネジメント株式会社 【初認定】

当社グループは、事業活動を行うなかで取り組むべき社会課題を絞り込み特定したグループ CSR 重点課題に基づき、経営理念である「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスを提供することで、社会に貢献することを目指し、取り組んでいます。

STEP 3

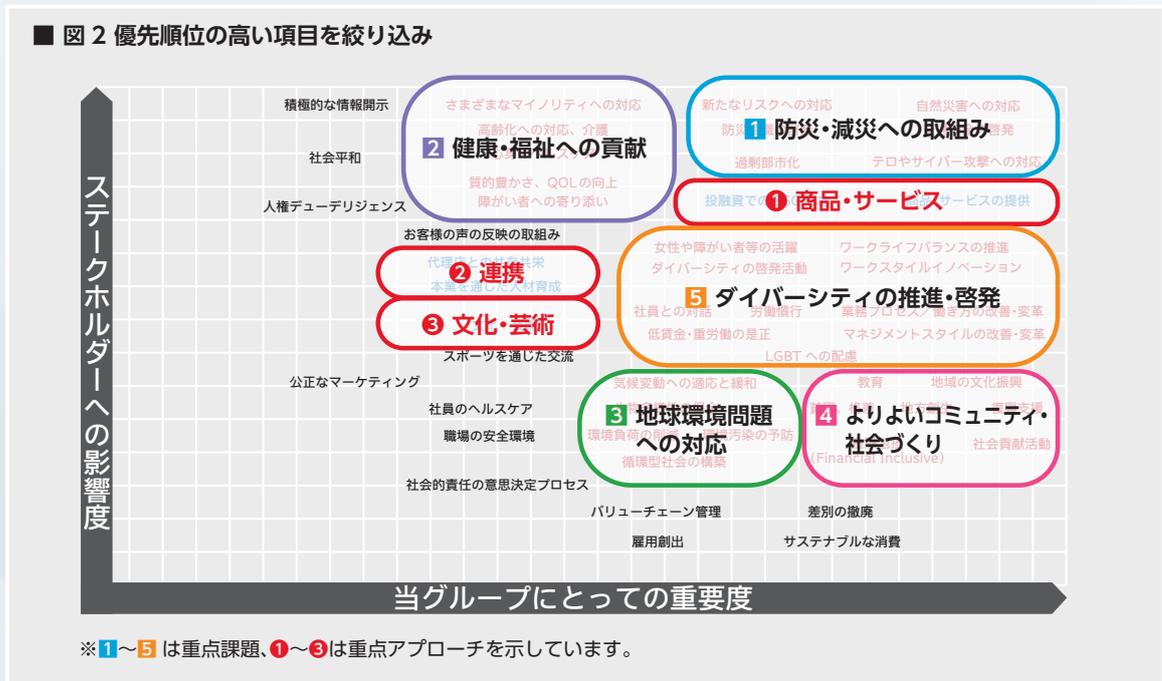
グループ内エンゲージメント

グループ全体でCSRを推進するにあたり、ステークホルダーからのご意見をふまえ、グループ会社横断の「グループCSR推進本部」、当社経営会議、取締役への説明会などで議論を行いました。

STEP 4

項目の決定、取組み推進

STEP1 から STEP3 のプロセスを経て、5 つの重点課題および 3 つの重点アプローチを決定しました。重点課題に即したグループCSR-KPIを策定し、グループのCSR推進体制におけるPDCAサイクルを通じて社会的課題の解決に資する取組みを推進することで、サステナブルな社会の実現に向けて貢献していきます。





CSR マネジメントシステム

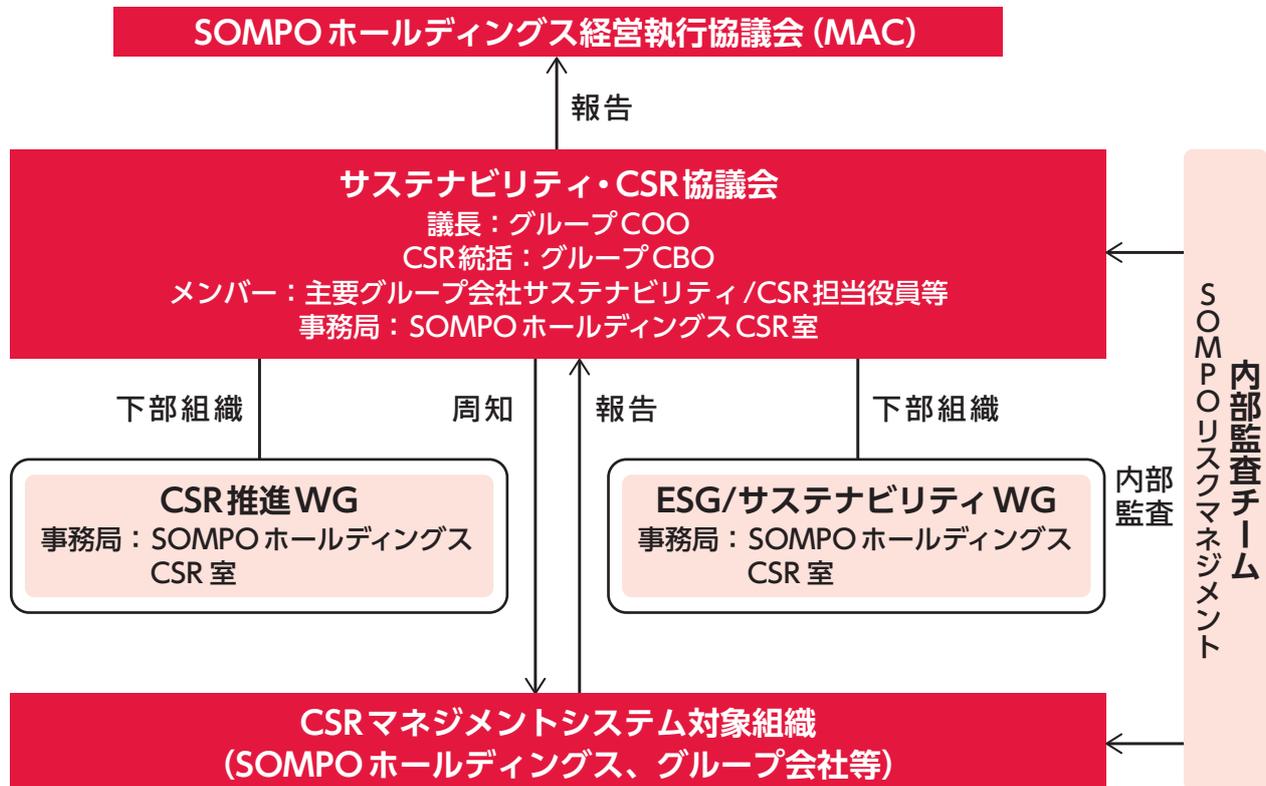
継続的な改善のためのPDCA サイクル (各社の推進体制)

ISO14001 を活用した推進体制

当社グループは、継続的な改善を図っていくため実効性のある CSR 推進体制を構築し、運用しています。1997 年から認証取得している ISO14001 の仕組みをベースに、環境だけでなく CSR 全般を推進の対象としたマネジメントシステムを構築しています。

グループ全体での推進 (サステナビリティ・CSR 協議会)

さまざまな社会的課題が複雑に絡み合い、深刻化するなか、取組みをより一層加速させるために、2020 年 4 月から、従来の「グループ CSR 推進本部会議」をグループ COO を議長とする「サステナビリティ・CSR 協議会」に変更しました。同時に、「CSR 推進」および「ESG / サステナビリティ」の 2 つのワーキンググループ (WG) を新たに設置し、当社グループ の事業部門も含めたステークホルダーとの意見交換や保険 引受・投資融資などの実務の視点をふまえた協議を行うなど、実効性を高める体制を構築しました。



グループ各社の推進体制

グループ各社では、社長または CSR 担当役員が CSR 地区統括責任者を務め、そのもとに CSR 管理責任者を配置する体制としています。また、すべての職場に CSR リーダー、CSR チェッカーという推進担当を配置することで、各職場における取組みの活性化、ボトムアップによる自律的な取組み強化を目指しています。

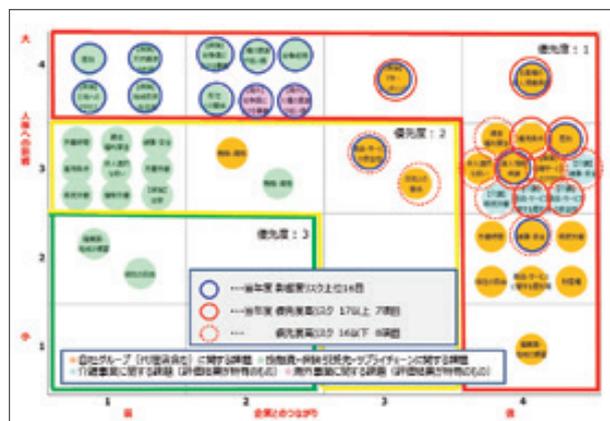
各社の推進体制 (例)

※各組織の規模に応じて推進担当の単位や人数を決定。

CSR 地区統括責任者	【役割】 各社の CSR 推進責任者 【対象】 グループ会社社長や CSR 担当部責任者など
CSR 地区本部事務局	【役割】 CSR 推進事務局との連絡窓口 社内への情報発信、要回答の取りまとめ 【対象】 各社 CSR 担当部
CSR 管理責任者	【役割】 部門の推進責任者 【対象】 部長
CSR リーダー	【役割】 CSR 管理責任者の補佐 【対象】 課長・リーダー
CSR チェッカー	【役割】 職場の CSR の推進 【対象】 担当者 (1 名以上)

※上記の CSR 推進体制はグループ全体で 2,800 名 (2019 年 6 月時点)

なお、人権課題への対応についても CSR マネジメントシステムに組み込んでいます。具体的には、関係部門・グループ各社において人権リスクの洗い出し・対応策 (実施計画) の策定・実践を行っています。



2020年度の人権リスク評価結果

実効性を高める CSR 実施計画表・内部監査

各職場では、毎年「CSR 実施計画表」を策定し、年初実施計画、上半期総括、年度末総括を行い、PDCA を回すことで、取組みの改善・加速につなげています。さらに、対話重視の内部監査により、各職場の特性に応じた CSR を推進するよう働きかけています。これら取組みの運用・管理状況については、定期的に経営のレビューを受ける仕組みとしています。

社内浸透に向けた各種研修

グループ社員を対象とした、ISO26000・SDGs・ESG に関する情報などを盛り込んだ独自の教材を活用した e ラーニングや職場でのディスカッションによる CSR 研修や新任部店長・新入職員などを対象とした階層別 CSR 研修を通じ、社員一人ひとりが CSR の取組みを理解し、実践につなげる機会としています。

＜ CSRの考え方 ＞

当社グループが企業としての社会的責任を果たすために、「グループ CSR ビジョン」と、それに紐づく3つのポリシーを定めています。

グループ CSR ビジョン

SOMPO ホールディングスグループは、未来に向けた対話を通じてステークホルダーと積極的にかかわりあいながら、高い倫理観のもと国際的な行動規範を尊重し、気候変動や生物多様性などの環境問題、人権やダイバーシティ、地域社会への配慮などを自らの事業プロセスに積極的に組み込むとともに、社会に対して透明性の高い情報を積極的かつ公正に開示していきます。

また、常に一步先を見据えて、社会の安心・安全・健康に資する商品・サービスの提供をすることで、ソリューションプロバイダーとしてレジリエントで持続可能な社会の実現に貢献していきます。



3つのポリシーの全文は、当社の公式ホームページで開示しています。
(<https://www.sompo-hd.com/csr/system/vision/>)

◀ 社外からの主な評価 ▶

Dow Jones Sustainability Indices (DJSI World)

企業の持続可能性を「経済」「環境」「社会」の3つの側面から評価し、先進的な取り組みをしている企業をDJSI構成銘柄として抽出した、世界の代表的なSRIインデックスです。当社の発足から10年連続、損害保険ジャパンからの通算で20年連続の組入れとなり、日本企業として最長期間の連続選定となりました。(2019年9月)



CDP (気候変動) 調査

当社は、世界の主要な機関投資家が企業に気候変動への戦略や温室効果ガスの排出量の公表を要請する国際的なプロジェクト「CDP」の気候変動に関する調査で4年連続Aリスト(最高ランク)に選定されました。(2020年1月)



令和元年度「なでしこ銘柄」に選定

当社は、若手層から管理職まで幅広い層を対象に女性のキャリアアップを支援する環境と風土を構築している点や、女性管理職数が増加している点が評価され、経済産業省および東京証券取引所が共同企画で実施する令和元年度「なでしこ銘柄」に選定されました。(2020年3月)



第7回アジア太平洋高齢者ケア革新アワードにおいて「Global Ageing Influencer 賞」を受賞

当社は、アジア太平洋地域において高齢者ケアで優れた実績を上げている人物および事業会社を部門ごとに表彰する「第7回アジア太平洋高齢者ケア革新アワード」において、「Global Ageing Influencer」賞を受賞しました。(2019年5月)

「東京都都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」において、大賞を受賞

損保ジャパンは、継続的・先進的な社会貢献活動を実施している企業、団体等を表彰する「東京都都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」(主催:東京都)において、防災・減災から健康・福祉まで様々な分野において、多様な団体と協働して全国で継続的に活動を展開している点が評価され、大賞を受賞しました。(2020年2月)

「ESG ファイナンス・アワード」において金融サービス部門で銀賞を受賞

損保ジャパンは、『防災・減災費用保険』などの提供を通じ、自然災害への対応を促進するとともに、気候変動の適応ビジネスの拡大に寄与している点が評価され「ESG ファイナンス・アワード」(主催:環境省)の金融サービス部門において銀賞を受賞しました。(2020年2月)



※本誌掲載のQRコード、URL、サービスは、予告なく変更となる場合があります。
※本誌掲載の写真、図版などの無断転載・複製を禁じます。



SOMPOホールディングスは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SOMPOホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL.03-3349-3000

URL <http://www.sompo-hd.com/>

